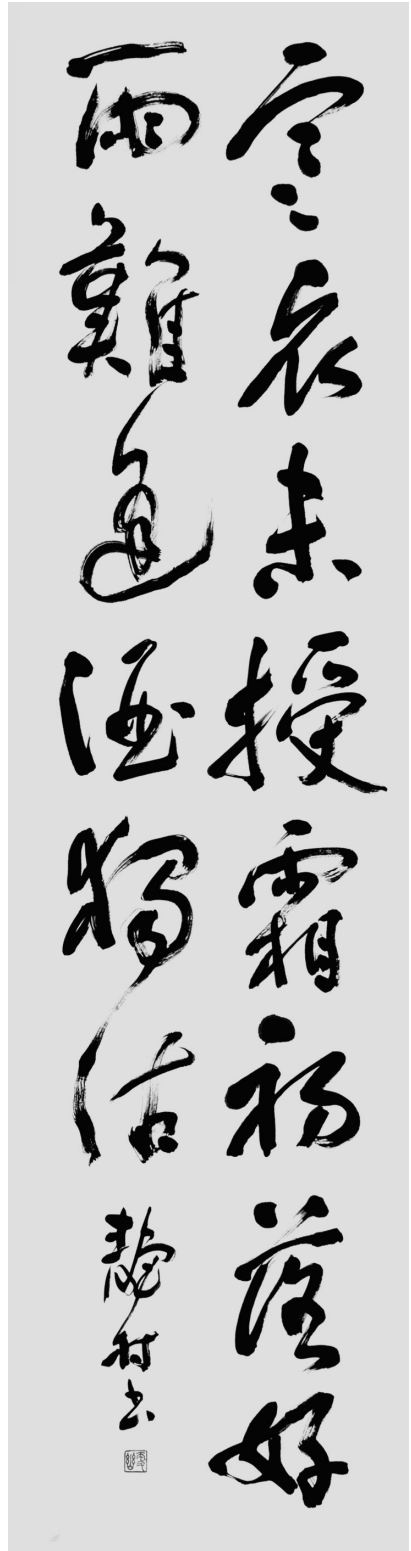


A

鈴木静村書

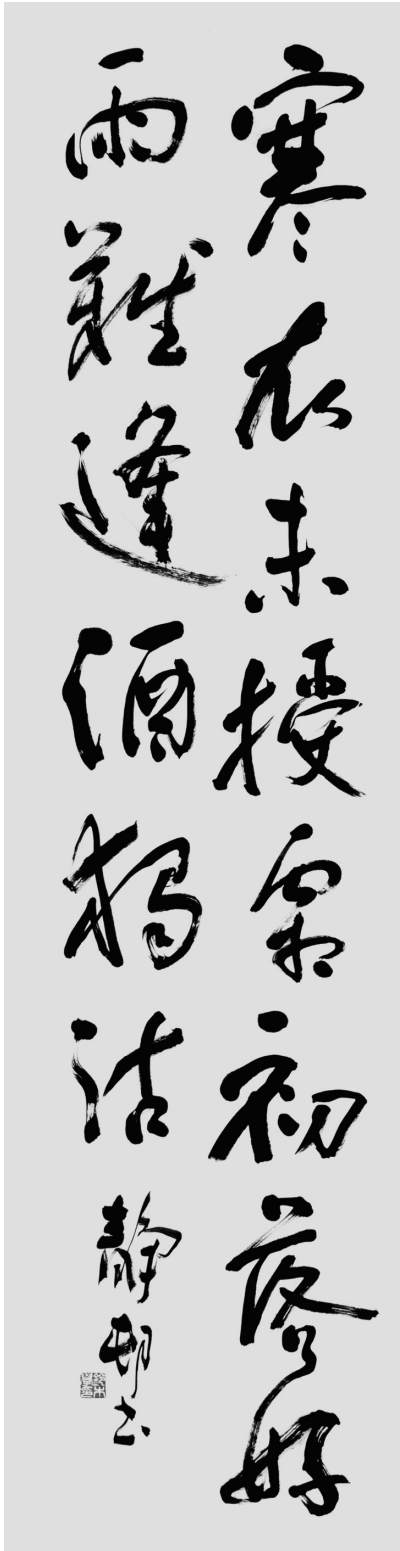
寒衣未授霜初落 好雨難逢酒獨沽 (呉貽詠)  
寒衣未だ授けず霜初めて落ち、好雨逢い難く酒独り沽う。



B

概観

点を無雑作に打っていることはないだろうか。点の傾き、大小、付け離し、脈絡等、一点をどう打つかによって一字が一変するともいう。例から、「寒」の崩しの一例、単に四点を打っても空しい。決め手は多様、一工夫の挑戦を期待したい。他に「霜」の一画め、点に見えるが元々は短横画、この把握が大切。点への興味は津々。各自掘り下げてほしい。



主な文字について

寒 A崩し方多い。字典で詳しく。未 一二画間を広め、A米芾借用。授 又この形古典に多い。霜 各点の表出に注目。初 墨継ぎ、一画目点に留意。落 草冠の点の表出は私の好み。好 末画の結び小さく。雨 A何紹基借用。逢 B之繞傾き過ぎ。ゆるやかに。酒 墨継ぎ。行草体字典参照のこと。沽 三水偏によって感じ方違う。

訳：冬の衣服も用意していないのに、はや霜が降りはじめる。潤いの雨が降らないので、ひとり酒を買って飲む。

予告 (十二月二十二日締切)

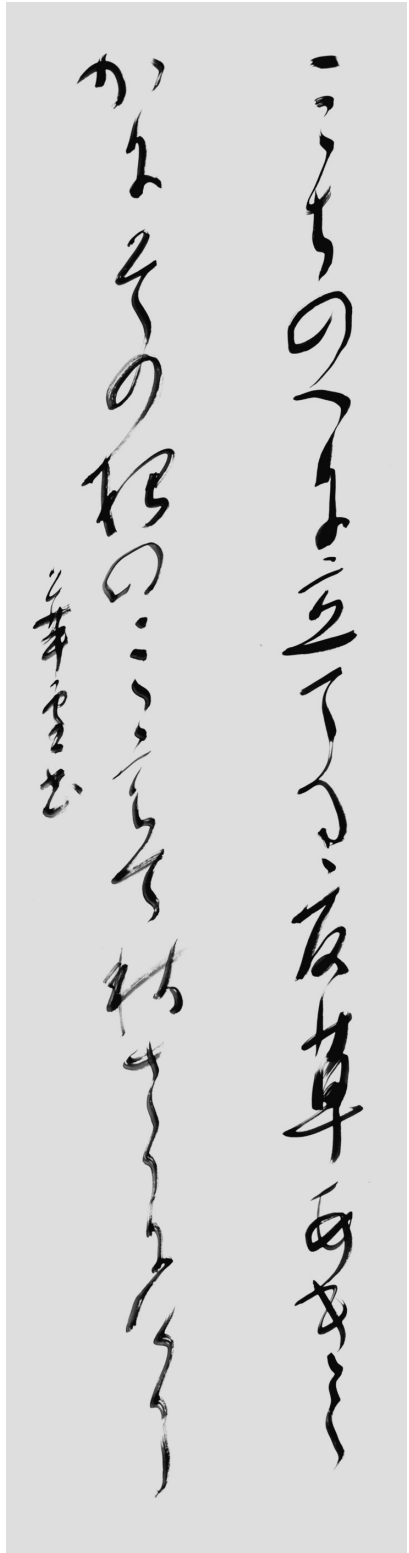
身入蒼翠中 落日無人影 步步踏松根 不覺到前嶺 (曹学佺)

- ◆注意
  - ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

A

平岡華雪先生書

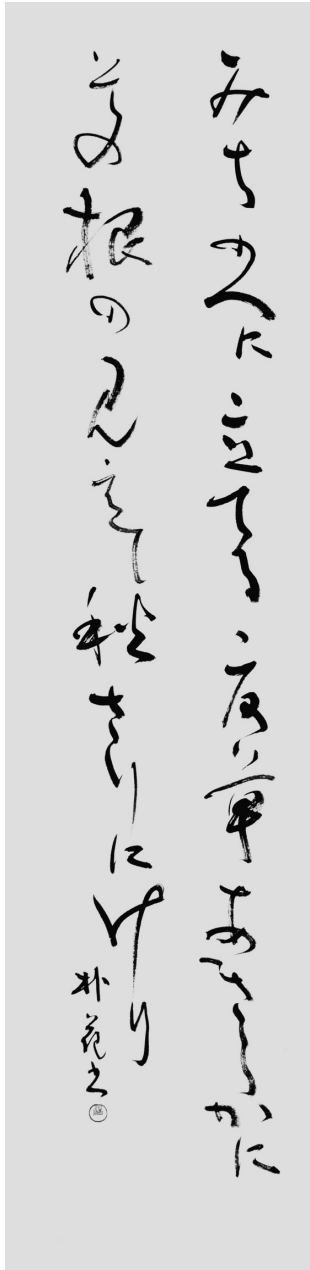
道のべに立てる夏草あきらかにその根の見える秋さりにけり (窪田空穂)  
三ちのへル<sup>み</sup>立てる夏草あきらか<sup>に</sup>カルその根の三<sup>み</sup>えて秋さ<sup>り</sup>ル<sup>に</sup>け<sup>り</sup>



B

向山朴花先生書

みちのへに立てる夏草あきらかにその根の見える秋さりにけり



学 び 方

空穂のもつ自然な诗情を生かし、平仮名を使ってみました。「に」「の」「で」「り」と同じ仮名が多数有り、平淡になり、ついで変体仮名で減り張りを出しますが、敢えて歌の素朴な情趣に準じました。  
全体表現としては、放ち書きと連綿とを呼応させ、疎密、大小の文字で流れを出しました。「見えて」でやや右に寄せ、歌のテーマである「秋」で墨を入れ、強調しました。  
筆の運びですが、特に「み」「草」「け」の最後画は、筆を廻して表裏を使います。  
毛筆の美と効果を活かす為に、筆の移動の中で、捻じる、廻す、立てる、傾ける、開く、閉じるなど、自在に駆使して、立体感と深みのある線質を生み出してみてください。

予告 (十二月二十二日締切)

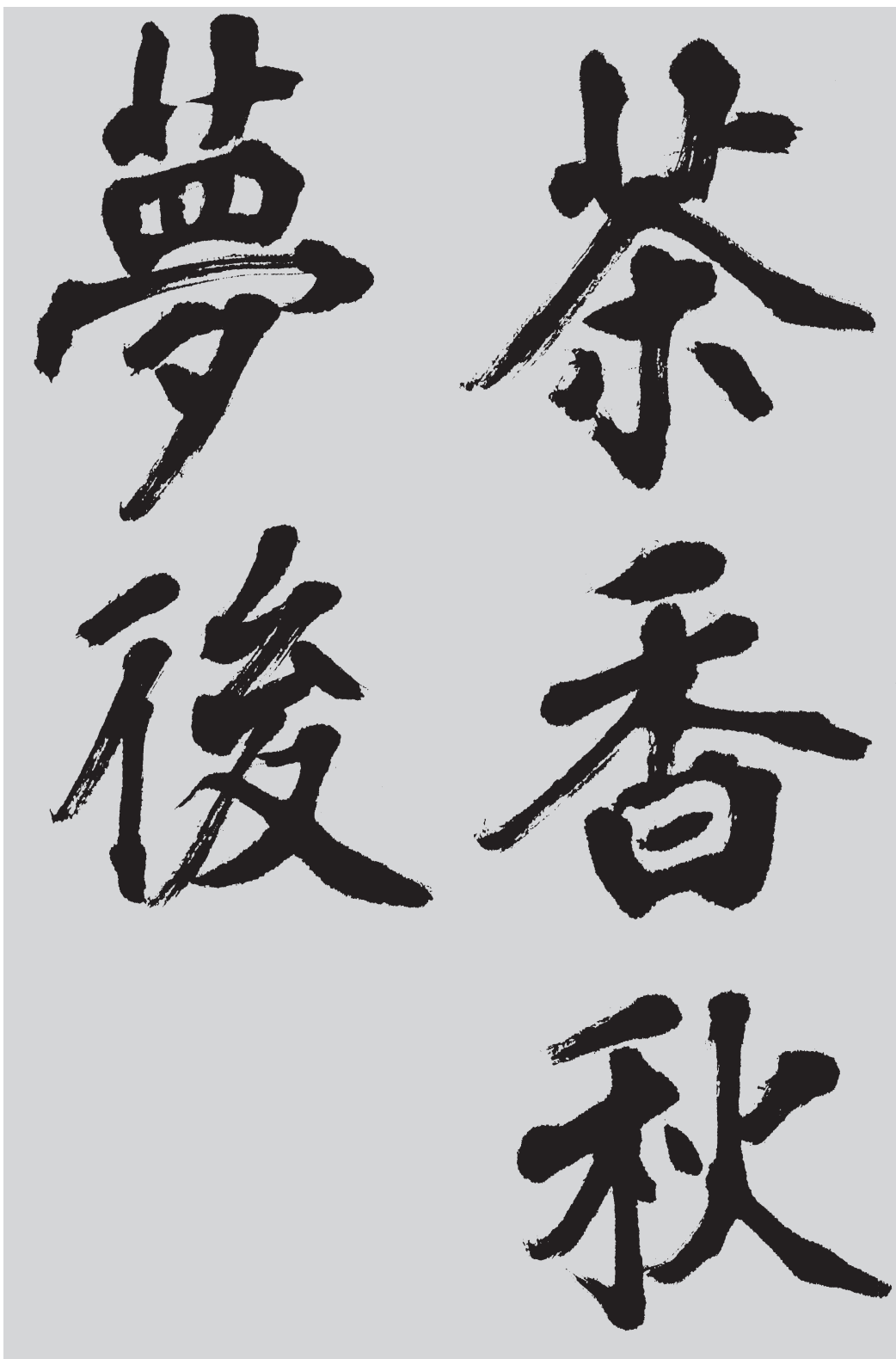
うづら鳴く真野の入江のはま風に尾花なみよる秋の夕暮 (金葉和歌集)

窪田空穂(一八七七—一九六七)の歌の独自の価値は、日常生活の実感による「微思」の表現を指摘したことにある。細やかな生活感情、意識の息づかいを捉え、それが個性的な艶を感じさせ、微かな生命の声として歌い出されたものが多い。  
与謝野鉄幹の知遇を得て、詩歌集「まひる野」以来、小説、評論、古典評釈などにも、幅広く活躍。自然主義思潮の影響をうける。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

平岡華雪先生書

茶香秋夢の後(許渾)

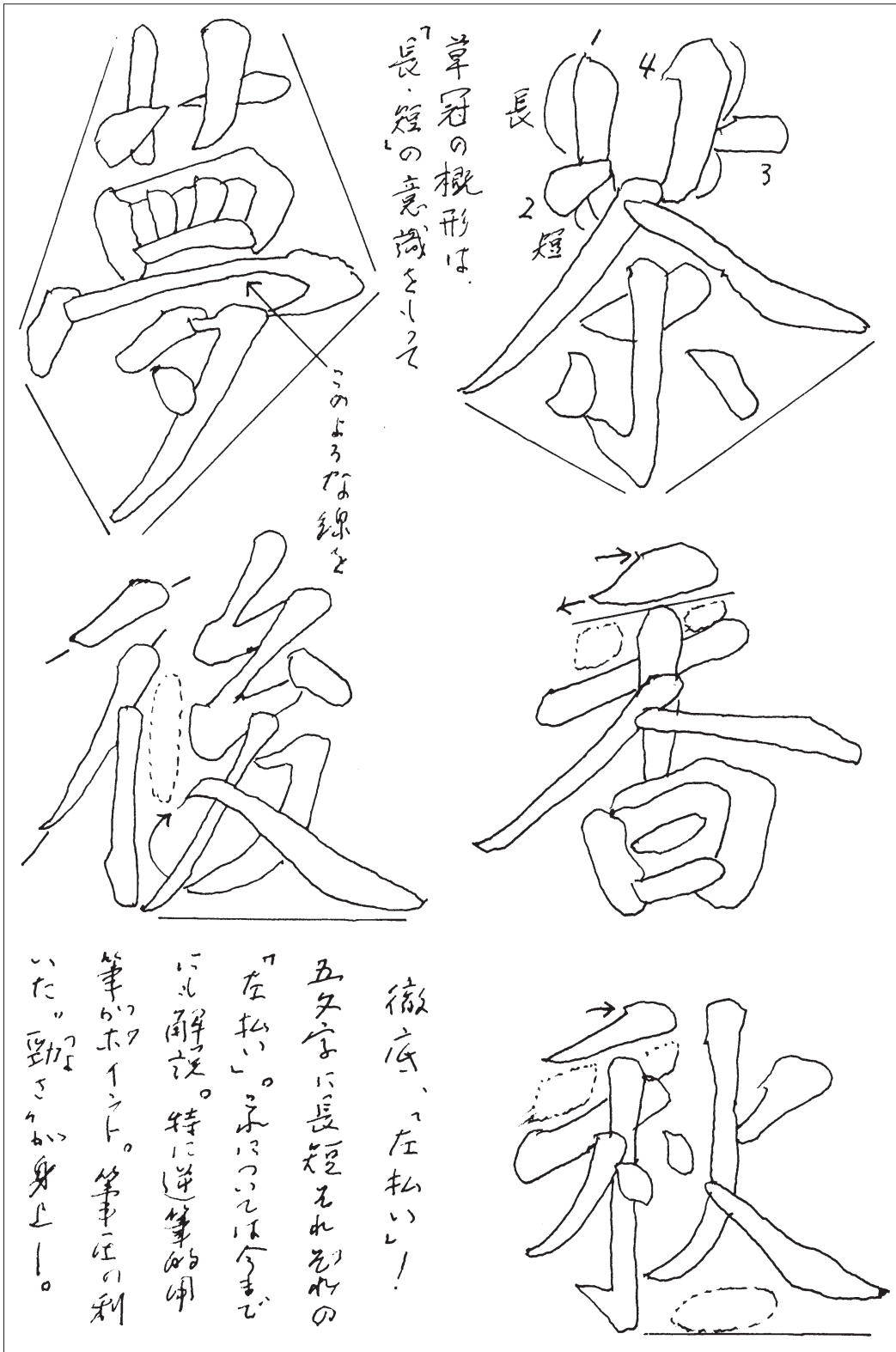


訳：夢さめて茶の香高く、(夕方に詩を吟する時、松声ひびく。)

▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

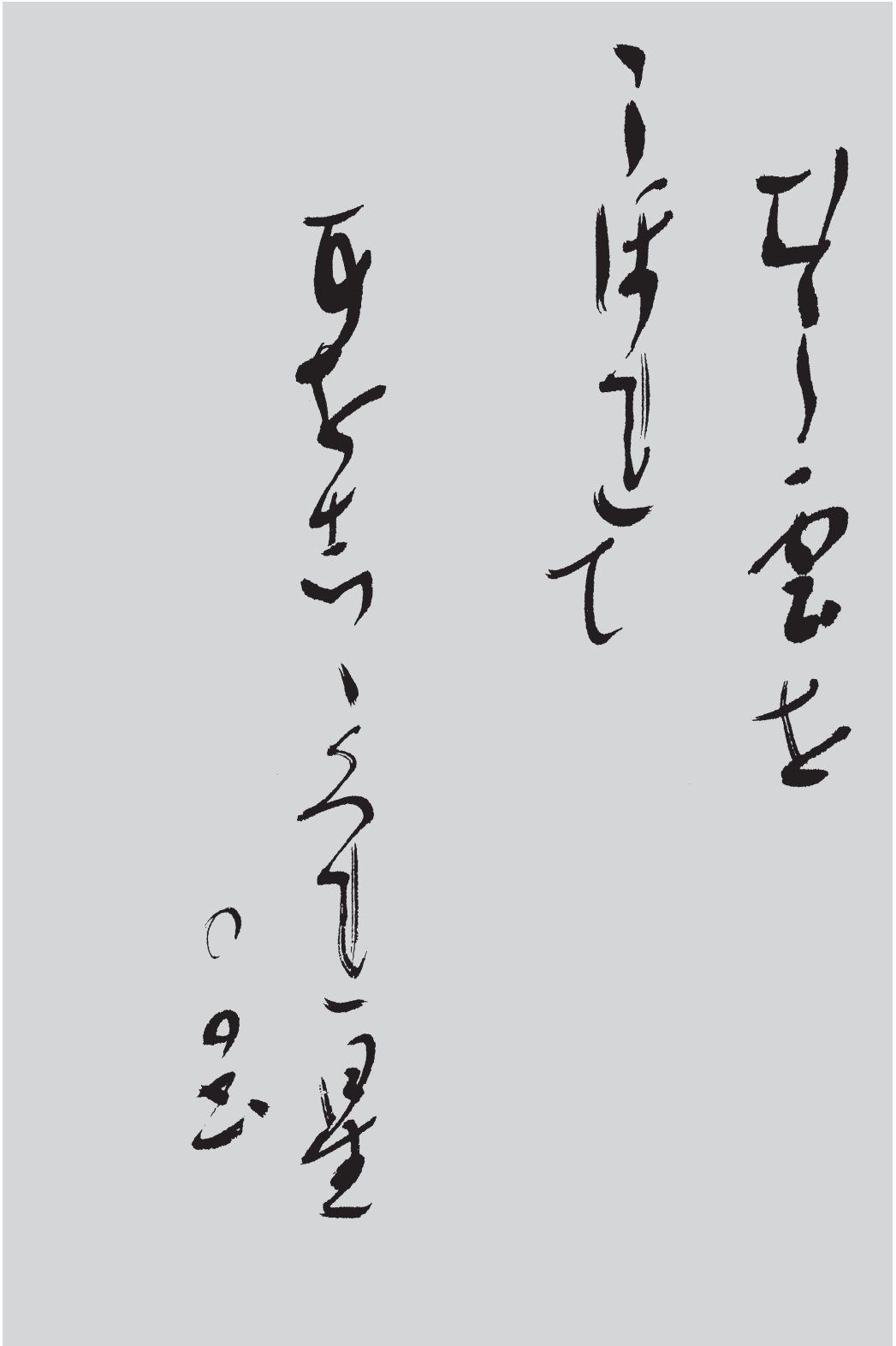
- ① 漢字部
- ② 支部名または都道府県名
- ③ 氏名または雅号
- ④ 新

会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。



平岡華雪先生書

むら雲をこぼれて青し時雨星(草城)



▼注意……はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。

- ① かな部
  - ② 支部名または都道府県名
  - ③ 氏名または雅号
  - ④ 新
- 会員は無料、会員外出品料は四〇〇円。

「む」の末画、「ん」の二画、「こ」の二画目は抑揚用筆にて、ダツシエ風に表出されてゐるが、「む」は点、「ん」は腰を小さく、の二画、「こ」は短斜画への意識を練かにしないことが大切。左群の「行」が勝負どころ。疎密・振幅・大細への工夫による、各人「自分」を打ち出してほしい。上は超し合せて。

註  
と  
え

む  
ん  
こ  
こ



む  
ん  
こ  
こ



む  
ん  
こ  
こ

本田 博雪 先生 書

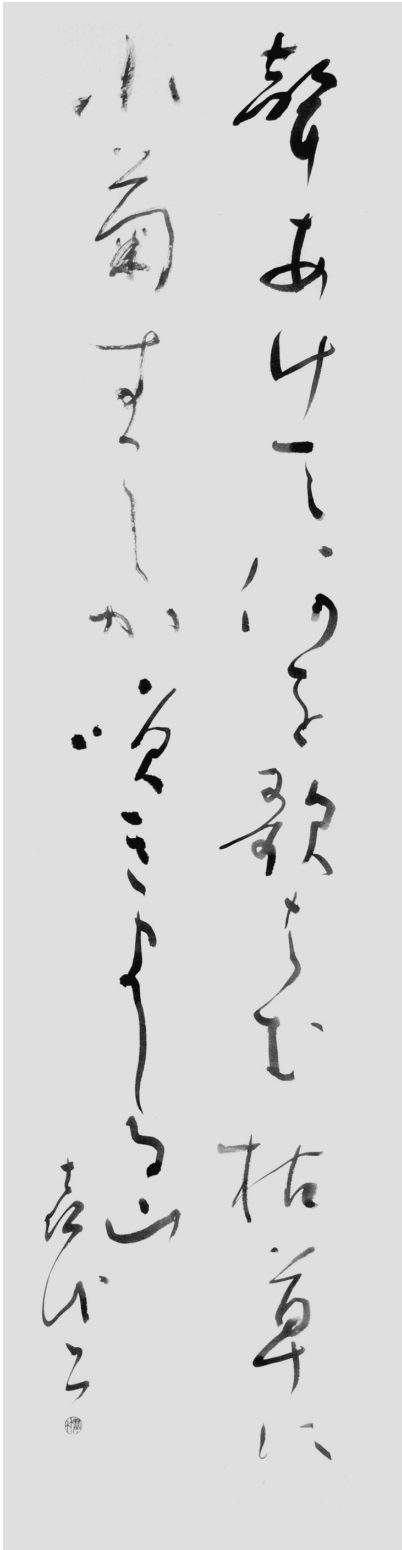
涼飛遠岸楓千葉 聲過疎燈鴈幾行 (李良年)  
涼は遠岸に飛ぶ楓千葉、声は疎灯を過ぐ雁幾行。



訳：落楓は千片も彼方の岸に飛んで涼しく、幾行か過ぎ行く雁の声は疎灯の下に聞くのである。

池田 群竹 先生 書

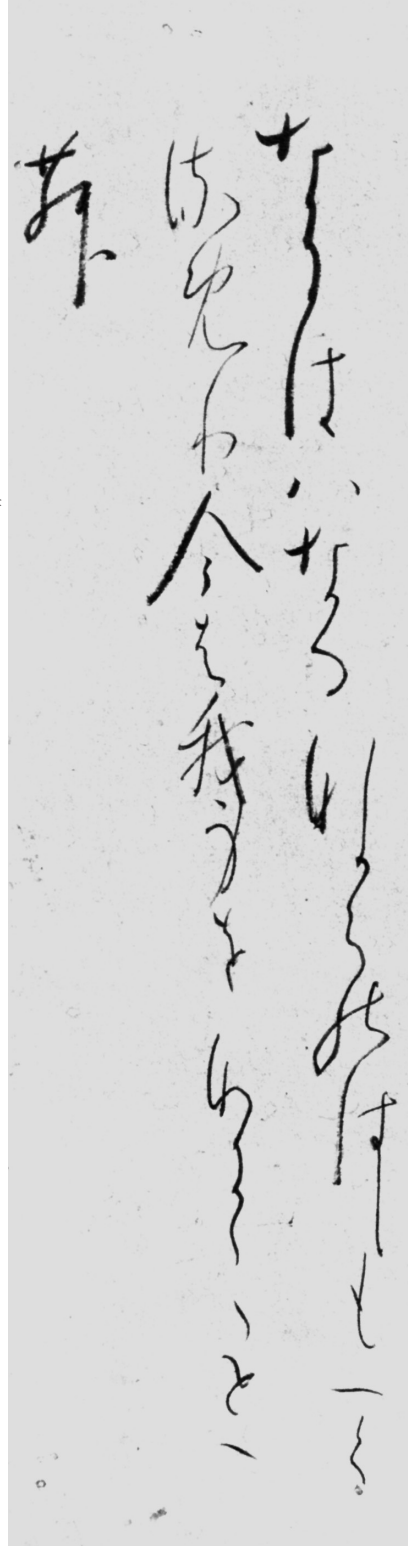
声あげて何を歌はむ枯草に小菊すこしが咲きまじる山 (尾上柴舟)  
聲あげて天何を歌者む枯草に小菊すこしか咲き末しる山



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条随を○で囲み(1)と記入する。)
  - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条随を○で囲み( )に何枚目か数字を記入する。出品料500円)

宮 絢子先生担当 元永本古今集

※条幅臨書部は出品料無料です。



なには(ハ)なるながらのはしもつくる(め)り  
 今は我身をなに、たとへん  
 ハ：不要。 め：古今和歌集には「な」となっている。

なは八なる那可ら能はしもつく流免利  
 今者我身を那尔、多とへ舞

③行を響き合わせる。



※三行書きになっていますが、半切に収まるのではないかと思います。  
 「舞」と印を含めた位置(三行目)を考えてみることも勉強になります。

△学び方▽

①結びに空間を作らない。



清楚な上品さをかもし出しています。

②近道連綿をする。



中心  
 二丁目以後は中心にありません。

連綿しながら、行が自然に右に流れ進んでいます。

⑦筆庄の変化による響き合い

筆庄をかけて力強く書いた行の隣には、穂先を利かせた鋭い線の文字を配置し、立体的な響き合いを出しています。

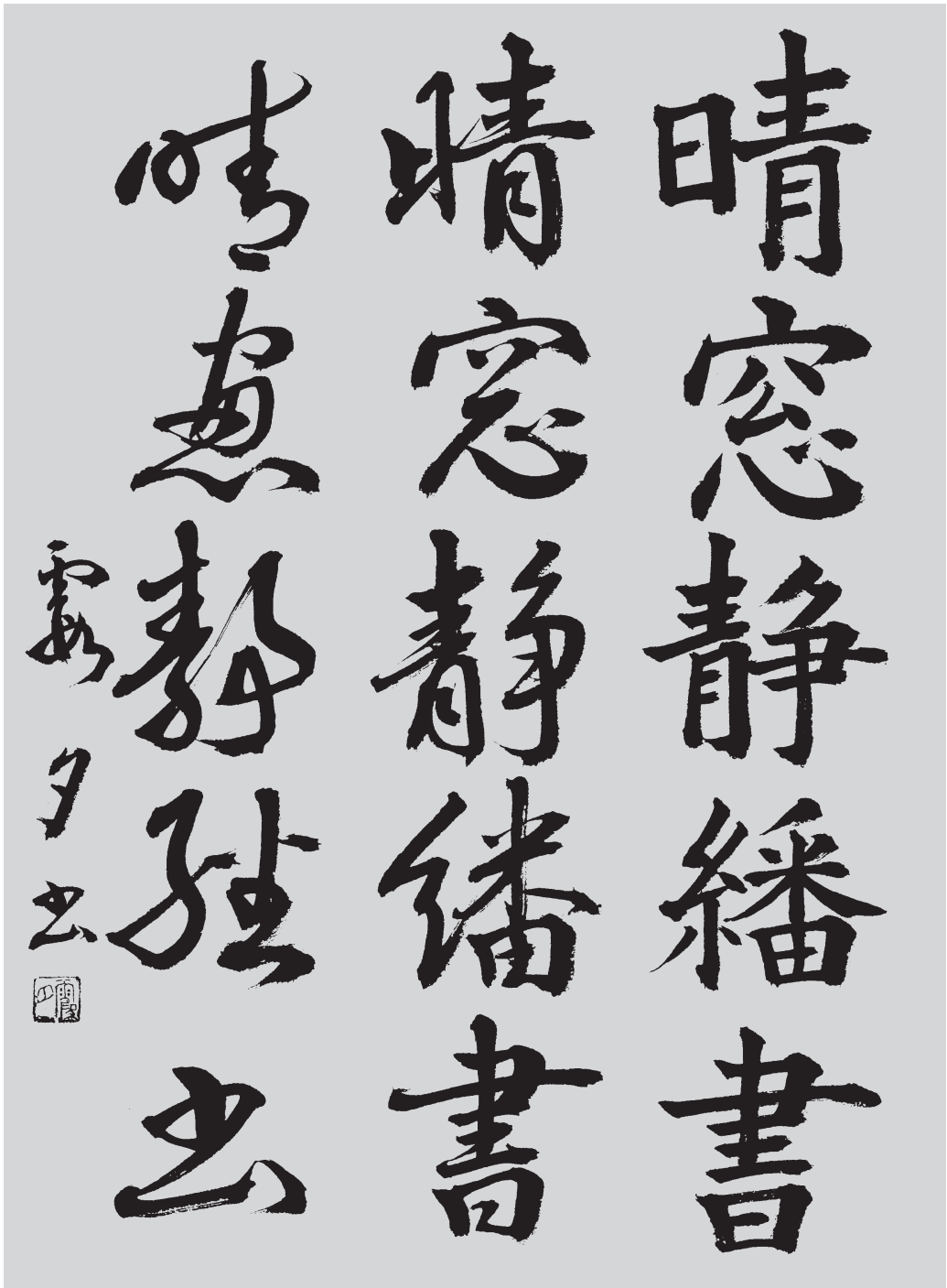
⑧字はばの広・狭による響き合い

隣合う文字に広・狭をつけることにより行と行とを呼応させています。更に余白の変化も加わり行と行が響き合いを見せています。



外川霞夕先生書

晴窓靜繙書（章祭）  
晴窓靜に書を繙く。



訳：晴れて明るき窓の下に心静かに読書する。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は400円。

高塚竹堂先生書

虫はなほ我世となくに月かげのうすれながらもこのるかぎりを

虫はなほ我世となくに月かげのうすれながらもこのるかぎりを

虫はなほ我世となくに月かげのうすれながらもこのるかぎりを

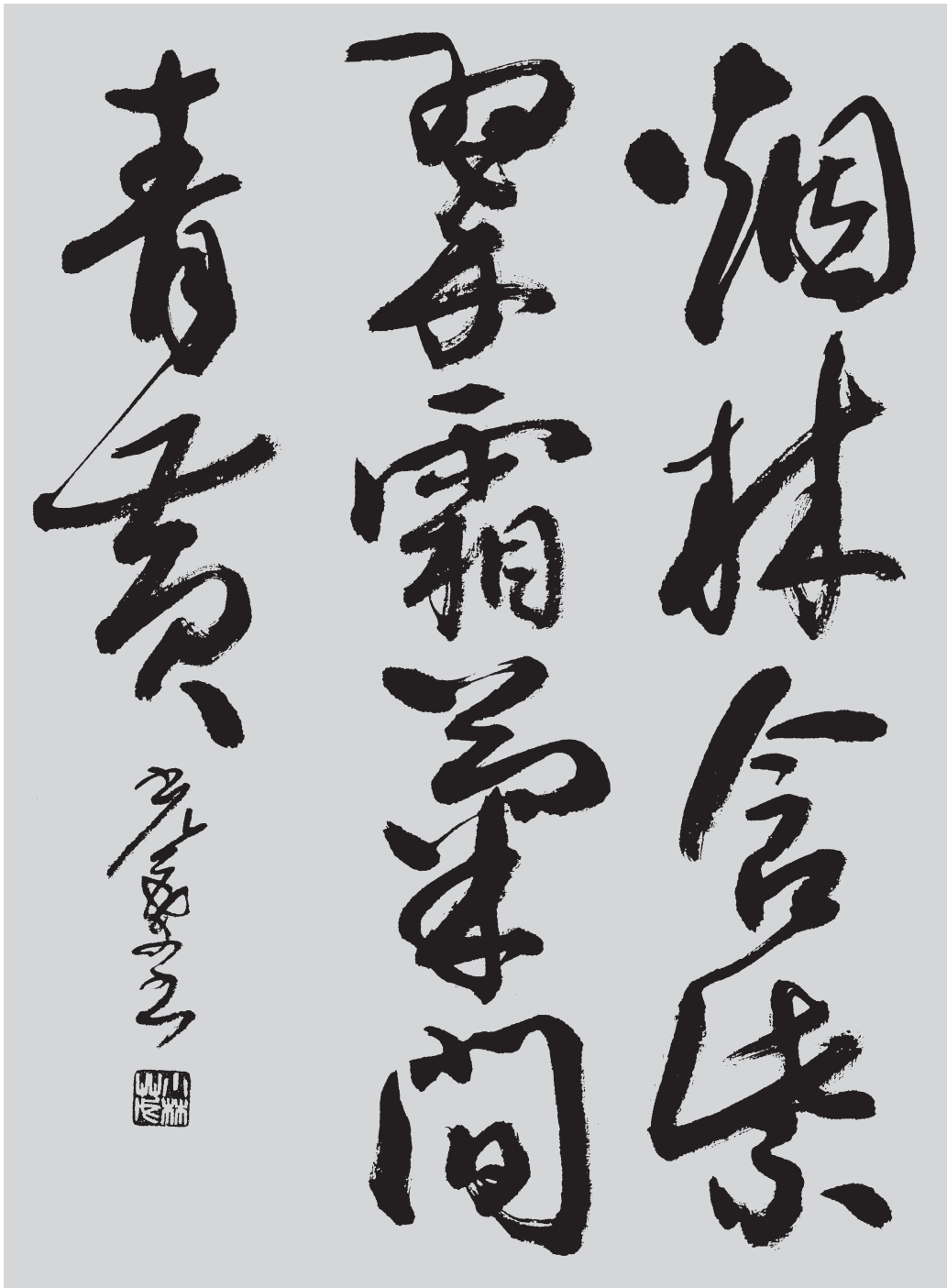
虫はなほ我世となくに月かげのうすれながらもこのるかぎりを

〇〇〇

◆随意部参考として出品してください。

小林 光葉 先生 書

烟林含紫翠 霜菊間青黃（蕭國寶）  
烟林紫翠を含み、霜菊青黃を問う。

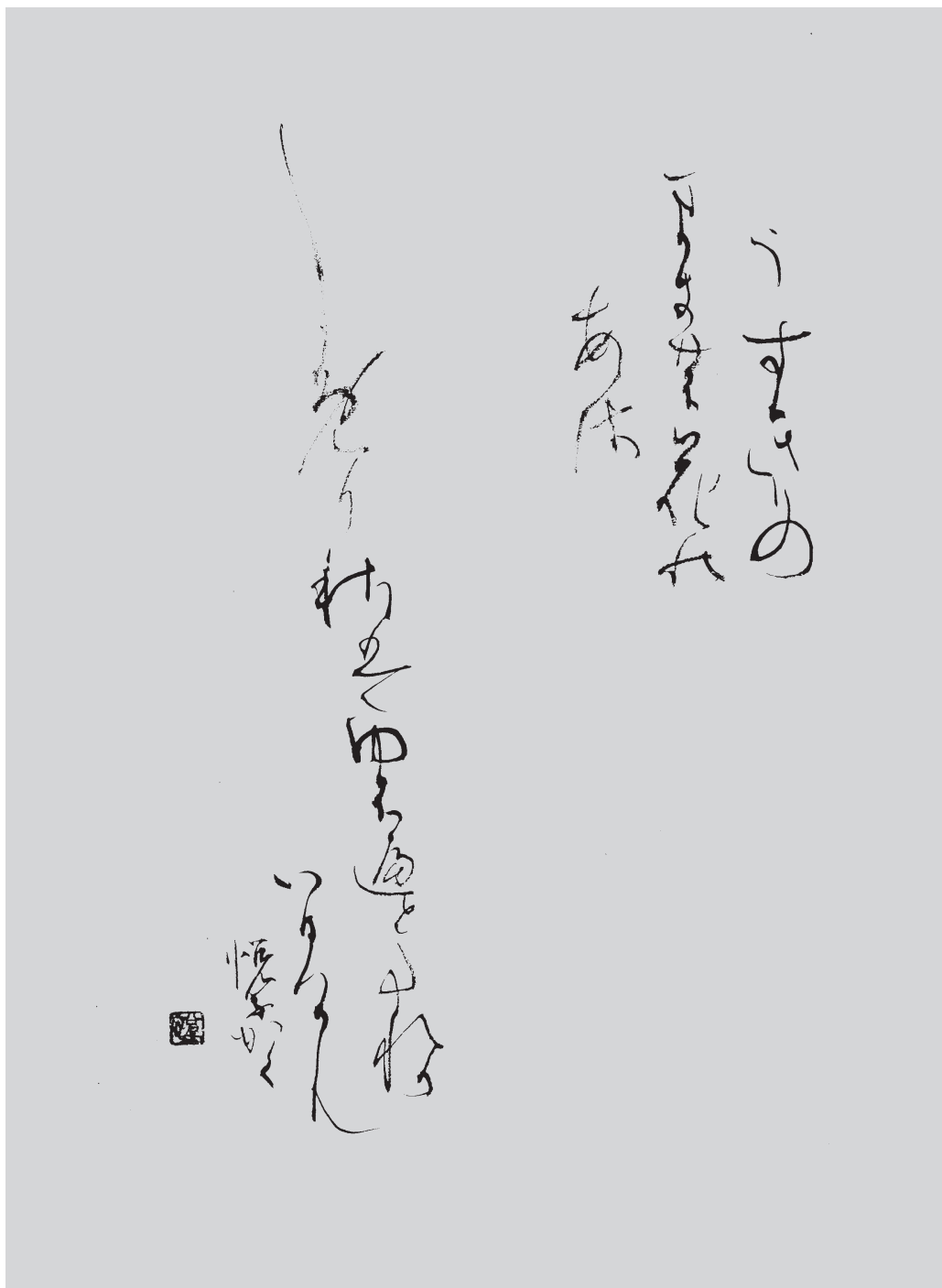


訳…もやのかかれる林は何となく紫翠をおび、霜のかかれる菊の花は青黄をまじえて咲いている。

添削又は手本希望者は本会規定により、小林光葉先生（〒234-0052 横浜市港南区笹下7-12-18）に直接お申し込みください。

長野悦子先生書

薄霧のまがきの花の朝じめり秋は夕とたれかいひけん（新古今和歌集 清輔朝臣）  
うすきりの万可支農花能あ佐し免り秋盤ゆ不遍と多れ可い日介ん



添削又は手本希望者は本会規定により、長野悦子先生（〒370-0862 高崎市片岡町1-10-7）に直接お申し込みください。

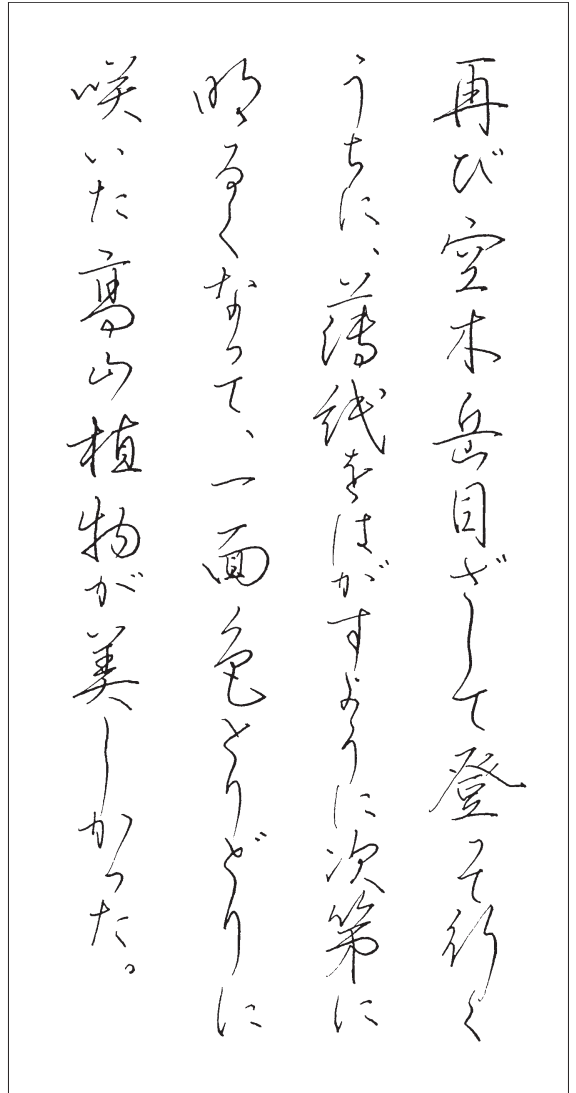
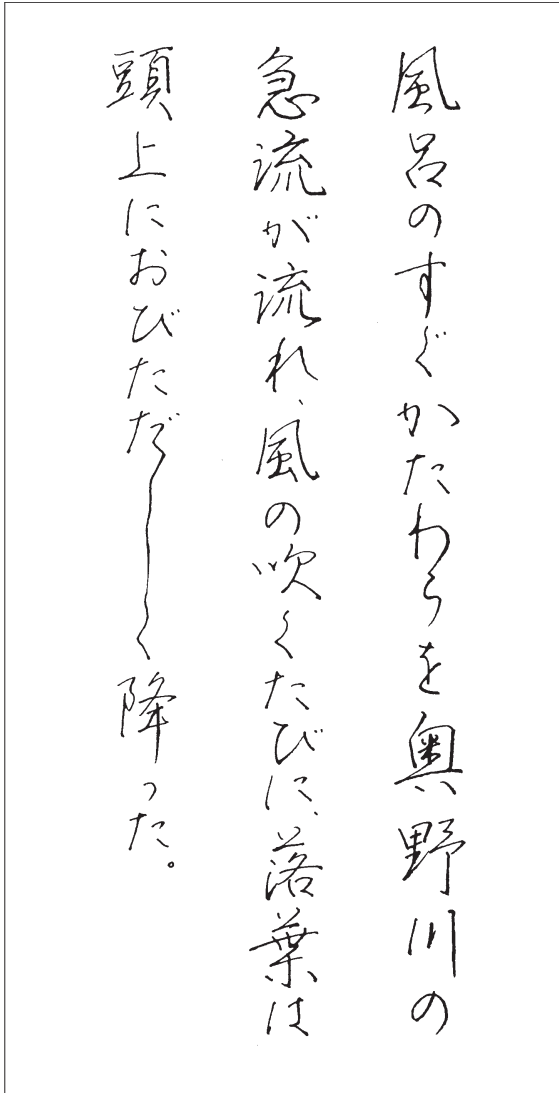
湯澤春翠先生書

路川千曄先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)

正教授 創作部門(自運作品、自由形式) 出品。詳細は38ページ参照



課題1 (初段以上)

再び空木岳目ざして登って行くうちに、薄紙をはがすように次第に明るくなって、一面色とりどりに咲いた高山植物が美しかった。  
〔日本百名山〕深田久弥

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (2) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (3) 会員は無料・会員外は四〇〇円
- (4) 添削希望者は直接担当の先生にお申込下さい。(返信用封筒に自分の住所・氏名を記入し、切手を貼って同封のこと)。
- (5) 課題1 六〇〇円
- (6) 課題2 三〇〇円

課題1 路川千曄先生 〒二〇七〇二二三

課題2 湯澤春翠先生 〒三七一〇二六  
前橋市城東町一ノ二九ノ五

課題2 (初段格以下)

風呂のすぐかたわらを、奥野川の急流が流れ、風の吹くたびに、落葉は頭上におびただしく降った。  
〔沈める滝〕三島由紀夫